

款	項	目	目名	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算書の頁
5	1	1	勤労者会館運営費	132 万 8	105 万 8	232～233

【商工振興課】

○勤労者会館運営 105 万 8 千円

勤労者の文化の向上と福利厚生を図るため、勤労者会館を運営し、有効活用を図りました。

令和 2 年度 利用状況	利用回数 (回)	利用人数 (人)
大ホール	2	62
中ホール	16	284
小ホール	15	253
会議室 A	40	419
会議室 B	12	85
合 計	85	1, 103

(参考) 令和 元年度 131 回 2, 459 人

平成 3 0 年度 149 回 2, 705 人

【使用料収入】 令和 2 年度 78 万 3, 588 円

令和 元年度 111 万 4, 648 円

平成 3 0 年度 125 万 2, 553 円

款	項	目	目名	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算書の頁
5	1	2	労働諸費	1, 443 万 0	1, 443 万 0	232～233

【商工振興課】

○シルバー人材センター運営費補助金 1, 443 万円

高齢者の就業その他多様な社会参加活動を援助し、高齢者の生きがいの充実と福祉の増進及び活力ある地域社会づくりに寄与しているシルバー人材センターの運営費の一部を補助しました。

《事業実績》

年度	受注件数	就業延人員	受注契約額	会員数
R2	1, 781 件	6, 549 人	137, 483 千円	296 人
R1	2, 073 件	8, 011 人	156, 926 千円	318 人
H30	2, 012 件	7, 579 人	139, 150 千円	293 人

款	項	目	目名	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算書の頁
6	1	1	農業委員会費	4,573万7	4,280万8	234～237

【農業委員会】

○農業委員会の体制

農業委員 定数19人 実数19人
 任期 令和2年7月20日～令和5年7月19日
 農地利用最適化推進委員 定数19人 実数19人
 任期 令和2年7月29日～令和5年7月19日

○3か年の申請許可状況

◇農地法に基づき受理及び審議承認した農地転用等許可状況

(面積：㎡)

種別	H30年度		R1年度		R2年度	
	件数	面積	件数	面積	件数	面積
3条(農地として活用…所有権移転、耕作権の設定)	36	44,059	42	94,335	32	81,426
4条(農地の転用…自分名義)	7	3,076	8	4,801	10	7,736
5条(農地の転用…他人名義の農地を売買又は貸借して)	59	35,428	56	39,657	66	43,883

◇農業経営基盤強化促進法による申請件数

(面積：㎡)

種別	H30年度		R1年度		R2年度	
	件数	面積	件数	面積	件数	面積
貸借(新規)	60	170,056	31	97,278	118	299,556
貸借(更新)	156	299,876	138	264,113	132	280,520
所有権移転(売買等)	41	61,364	29	50,220	28	45,689

※農業経営基盤強化促進法…農業経営の規模拡大や合理化を進めていく意欲のある農業経営者(認定農業者等)支援のための法律で、農地法の許可を受けずに農地の貸し借り等ができる制度

○農地利用最適化交付金事業 10万8千円

農地等の利用の最適化(担い手への農地集積・集約化、遊休農地の発生防止・解消、新規参入の促進等)の推進に係る活動の実績に応じ、農業委員及び農地利用最適化推進委員へ報酬を支給しました。 活動実績に応じた交付金 10万8千円

○農業者年金業務事業 25万3千円

農業者年金は、農業者年金基金法に基づく農業者の老後の生活の安定と福祉の向上を目的とした年金制度であり、農業者年金基金から委託を受け事務を行っております。

新規加入者申込届や裁定請求書、現況届などの届出書の受付、農業委員・農地利用最適化推進委員による加入対象者への周知及び加入推進活動を行いました。

区 分		年 度	H30 年度	R1 年度	R2 年度
年金受給者 (人)			477	463	473
被保険者 (人)			205	189	185
届出受付件数 (件)	新規加入者申込		15	6	11
	死亡・脱届受付		40	31	41
	経営移譲年金請求 (旧制度)		3	1	0
	老齢年金請求 (旧制度)		2	7	2
	特例付加年金請求 (新制度)		1	0	0
	老齢年金請求 (新制度)		17	19	15

○機構集積支援事業 74万1千円

農地中間管理機構が担い手への農地の集積・集約化を促進するに当たって、農業委員会が関連する事業を実施しました。

- ・農地利用状況調査……市内全域の農地を、農業委員、農地利用最適化推進委員及び事務局・農林課と共にパトロールを実施し、遊休農地の把握を行いました。
- ・農地利用意向調査……遊休農地所有者に対して意向調査を行い貸借等の斡旋や、遊休農地の解消に努めました。
- ・遊休農地面積……………19.4ha (前年19.4ha)

款	項	目	目名	予算額(千円)	決算額(千円)	決算書の頁
6	1	3	農業振興費	2億561万0	1億8,142万2	238～245

【農林課】

○雇用労力支援システム事業 656万3千円

担い手農家の規模拡大等に必要な労働力を安定的に確保するためには労力支援システムの構築が必要であることから、農援隊を組織する農協に対し補助を行いました。

事業の成果としては、農作業労力支援システムの活用により労力不足を解消し農業経営の安定に繋がりました。

受益戸数	210戸
利用日数	4,080日
事業費	4,824万4千円(うち補助対象:1,312万6千円)
負担割合	市:1/2、農協:1/2

○チャレンジ園芸1000億推進事業 102万8千円

本市の施設園芸品目の一端を担うキク栽培において、冬季出荷作型における切り花のボリュームの低下は、ロス率を高め、生産コストの最も高い冬季の売上げを抑制する経営上の大きな問題であったことから、環境測定装置、炭酸ガス発生装置、局所施用装置の導入に対し、補助を行いました。

事業の成果として、冬季の収量・品質が向上し、農業経営の安定が図られました。

受益戸数	1組合(5戸)
事業量	環境制御機器 受益面積0.86ha
事業費	235万4千円(うち補助対象事業費:235万4千円)
補助率	県:1/3、市:1/10



〔局所施用装置〕



〔炭酸ガス発生装置〕

○新構造改善加速化支援事業 703万5千円

新規就農者の育成確保や安定した経営体の育成が必要であり、経営改善による規模拡大や省力化・効率化等を図ることが課題となっていることから、生産管理施設（園芸用ハウス）の導入に対し補助を行いました。

事業の成果として、農産物の生産増加や経営規模の拡大など経営の改善に繋がりました。

受益戸数	1戸
事業量	ハウス1棟 1,650㎡
事業費	1,276万円（うち補助対象：1,172万5千円）
補助率	県：1/2、市：1/10



〔園芸用ハウス（アスパラガス）〕

○産地生産基盤パワーアップ事業 1億1,758万8千円

水田・畑作・野菜・果樹・花き等の産地が創意工夫を活かし、地域の営農戦略として定めた「産地パワーアップ計画」に基づいて実施する競争力の強化や産地の高収益化に向けた取組を総合的に支援しました。

受益戸数	白菜農家 10戸 ほうれん草 1法人
事業量	連棟ハウス（白菜） 2.05ha 連棟ハウス（ほうれん草） 0.50ha
事業費	2億3,899万7千円（うち補助対象事業費：2億3,517万7千円）
補助率	国：50%



〔ハウス（ほうれん草）〕



〔ハウス（白菜）〕



〔ハウス（白菜）〕

○有害鳥獣対策事業 986万1千円

農業収益の低下を招く有害鳥獣の被害を防止するため、駆除対策として猟友会へ駆除を委託し、実施しました。

事業の成果として、有害鳥獣であるイノシシ等による農作物被害の軽減に繋がりました。

・有害鳥獣捕獲実績

イノシシ	イノシシ以外の獣	カラス
581 頭	51 頭	349 羽



[イノシシの捕獲]

○農地中間管理機構事業 452万4千円

農地中間管理事業の業務を効果的に進めるため、農地集積専門員の設置等を行いました。

事業の成果としては、事業の円滑な推進が可能となり、担い手への農地集積・集約化の加速化に繋がりました。

事業内容	農地集積専門員設置 1人 等
集積面積	農地中間管理機構による新たな集積面積 8.9ha
補助率	国：100%

○農地集積・集約化対策事業 298万6千円

担い手への農地集積・集約化を進めるため、農地中間管理機構を通し農地を貸し付けた地域及び個人に対し協力金の交付を行いました。

事業の成果としては、担い手への農地集積・集約化により規模拡大、耕作放棄地の防止・解消に繋がりました。

件数	地域：3地区、個人：3人
事業量	地域集積協力金：3地区 25.3ha 経営転換協力金：3人 1.2ha
交付単価	地域集積協力金：10千円～16千円/10a 経営転換協力金：15千円/10a
交付金額	地域集積協力金：2,810千円 経営転換協力金：176千円

【商工振興課】

○高校生新商品開発支援事業 33万5千円

市内高校の生徒活動による地域資源や農林水産物を活用した新商品開発に対する支援を行いました。地元菓子店の協力のもと、市内の2つの高校で商品化が図られました。

商品の一例



[かぼどら]



[番紅茶シフォン]

款	項	目	目名	予算額（千円）	決算額（千円）	決算書の頁
6	1	4	畜産業費	4億8,327万0	4億6,735万0	244～249

【農林課】

○畜産環境衛生保全事業 688万8千円

畜舎周辺の宅地化が進んでおり家畜の飼育に起因した悪臭・衛生害虫の発生は、畜産経営の維持継続に影響をきたすことから、畜舎の環境保全を図る薬剤の購入に対し補助を行いました。

事業の成果としては、衛生害虫及び悪臭発生防止等が図られ、畜産経営の維持継続と畜産環境の保全に寄与しました。

受益戸数	62戸
事業費	2,557万5千円
補助率	市：1/3以内

○畜産クラスター構築事業 4億3,323万6千円

畜産の経営基盤強化を図るため、採卵鶏の飼養羽数の増加による収益性の向上や省力化に取り組む施設整備に対し補助を行いました。

事業の成果としては、鶏舎等の整備により規模拡大等が図られ、経営の安定・向上に繋がりました。

受益戸数	1戸
事業量	<p>■島原キンケイ協議会（採卵鶏）</p> <p>ウインドレス鶏舎（成鶏舎）2棟（鉄骨造：2415.88㎡）</p> <p>ウインドレス鶏舎（育成育雛舎）1棟（鉄骨造：1351.12㎡）</p> <p>堆肥発酵施設1棟（コンポスト：100㎡）</p>
事業費	9億4,380万円（うち補助対象8億5,800万円）
補助率	国：補助率1/2以内、市：5%以内（上限：500万円）



【ウインドレス鶏舎内部】



【堆肥発酵施設】

款	項	目	目名	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算書の頁
6	1	5	農地費	2億2,446万5	1億6,332万8	248~253

【耕地水産課】

○需用費（修繕料） 1,551万4千円

農業用の道路や河川等の施設において、破損箇所の補修や改修を行い、利用者の安全性や利便性を高めました。

工 種 名	件 数	支出額 (千円)
農道修繕	24件	5,447
用排水路修繕	35件	10,067
計	59件	15,514

○工事請負費 2,741万2千円

農業用施設である農道や河川等の用排水路の改修を行い、利用者の安全性や利便性を高めました。

工 種 名	件 数	支出額 (千円)
農道・水路改修工事 (植松ため池浚渫工事、馬落川護岸改修工事、農道西野田線C法面改修工事、八反田川護岸改修工事)	4件	27,412
計	4件	27,412

植松ため池浚渫工事



着工前



竣工

馬落川護岸改修工事



着工前



竣工

農道西野田線 C 法面改修工事



着工前



竣工

八反田川護岸改修工事



着工前



竣工

○原材料費 149 万円

公図上にある農道の舗装や用排水路の漏水対策で自然排水路の改良などの必要性が高く、受益者が自ら施工できるものに対し、生コンなどの資材を支給し、営農の効率化や農業経営の安定を図りました。

工種名	件数	支出額(千円)
生コンクリート	3件	1,430
U形側溝	1件	60
計	4件	1,490

○県営事業費負担金 4,973万1千円

県営の畑地帯総合整備事業（三会原第3地区）外7件に対し、負担金を支出しました。

(千円)

番号	事業名	箇所名	事業内容	事業費	負担金
1	県営グリーンロード橋耐震対策事業	雲仙グリーンロード2期地区	耐震補強	5,000	18
2	県営畑地帯総合整備事業	三会原第3地区	区画整理 用排水施設	57,000	6,020
3	県営畑地帯総合整備事業（R1年度繰越）	三会原第3地区	区画整理 用排水施設	100,000	10,556
4	県営畑地帯総合整備事業（R1補正繰越）	三会原第3地区	区画整理、用排水施設	50,000	5,843
5	県営畑地帯総合整備事業	三会原第4地区	測量、設計、換地、 区画整理、用排水施設	173,000	7,544
6	県営水利施設整備事業	三会原島原・深江	揚水機補修	45,000	4,250
7	県営ため池整備事業	山之内ため池	実施設計	50,000	8,000
8	県営農業競争力農地整備事業実施計画策定事業	中原・寺中地区	事業実施計画策定	30,000	7,500
	計			510,000	49,731

整備状況



着工前



完成



営農状況：だいこん収穫

○路面下空洞化調査業務 483万7千円

島原市が管理する河川等に面している路面において、路面下の空洞の有無等の異常（空洞化による災害、第三者被害につながるおそれのある変状）を把握するための調査を実施しました。

調査対象	一次調査 (路面下空洞調査)	二次調査 (スコープ調査)	支出額 (千円)
椎山川	0.48 k m	2箇所	4,837
佐野川	0.34 k m	2箇所	
前川内川	0.42 k m	2箇所	
大野川	0.42 k m	0箇所	
小原川	0.05 k m	0箇所	
尻無川	0.07 k m	0箇所	
二軒茶屋排水路	0.21 k m	2箇所	
板の元川	0.05 k m	0箇所	
計	2.04 k m	8箇所	

一次調査（路面下空洞調査）



路面下空洞探査車計測状況

二次調査（スコープ調査）



削孔状況



ハンディ型地中レーダ計測状況



空洞内部撮影状況

○農道橋個別施設計画策定業務 667万7千円

本事業はインフラ長寿命化計画に基づき、所管する農道橋の変状等の異常を把握するための定期点検を実施し、維持管理・更新等を着実に推進する中期的な取組の方向性を明らかにするため、「個別施設計画」を策定し、これによって農道橋の長寿命化に向けた取組をさらに強力に推進することを目的としています。

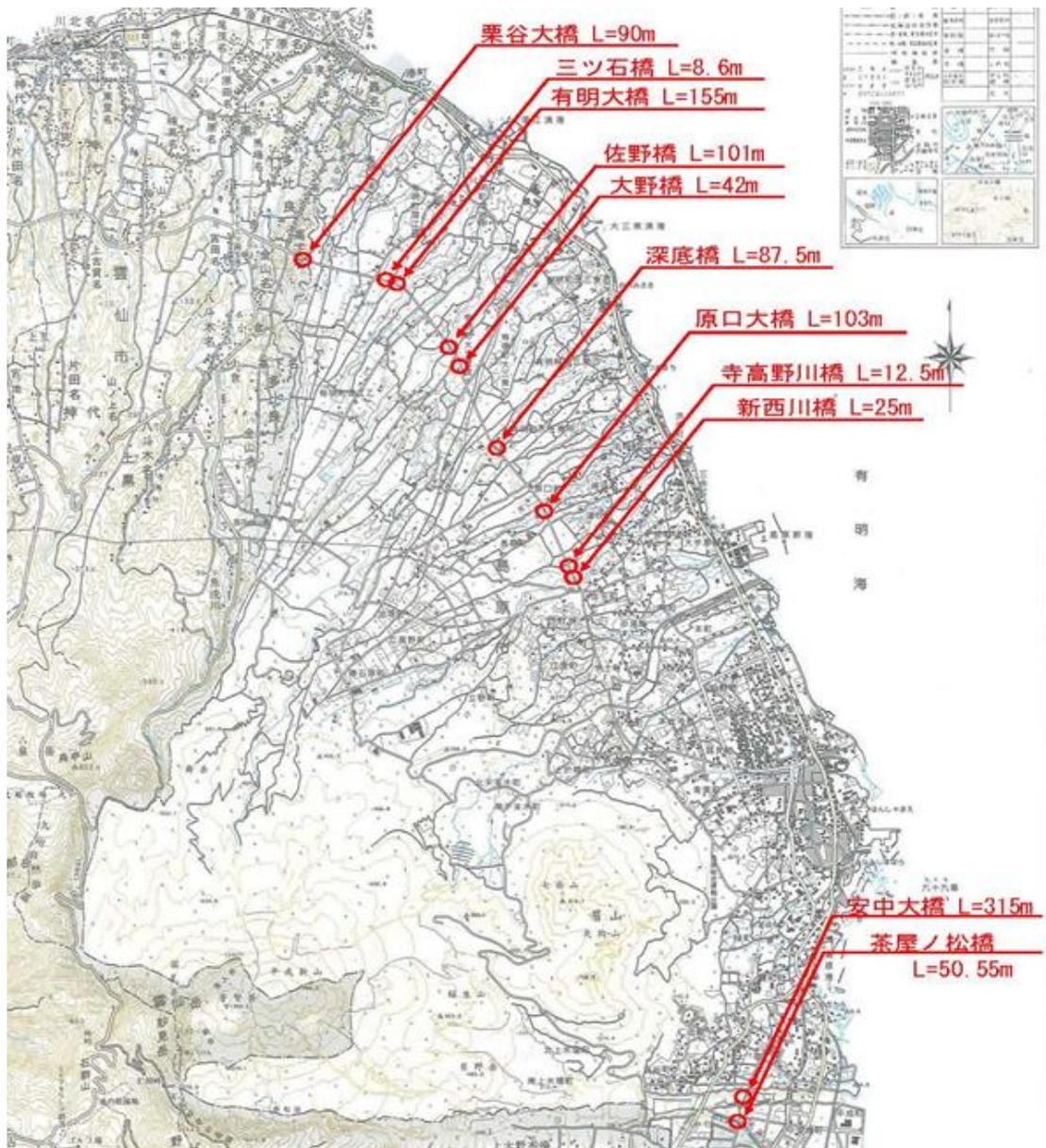
業務内容：橋梁定期点検 N=10 橋

個別施設計画策定 N=10 橋

対象橋梁：寺高野川橋、原口大橋、安中大橋、茶屋ノ松橋、深底橋、
大野橋、佐野橋、有明大橋、三ツ石橋、栗谷大橋

(新西川橋は高規格道路整備により架替えとなるため個別施設計画未策定)

補助率：国50% 市50%



○農村地域防災減災事業（調査計画事業） 93万5千円

近年、地震・集中豪雨等の災害により、ため池の決壊が発生しているため、島原市内防災重点ため池の中で、ため池決壊時の浸水想定区域図が未作成であった、清水、山ノ内ため池について浸水想定区域図を作成すると共に、ため池マップ（防災重点ため池位置図）の更新を行いました。

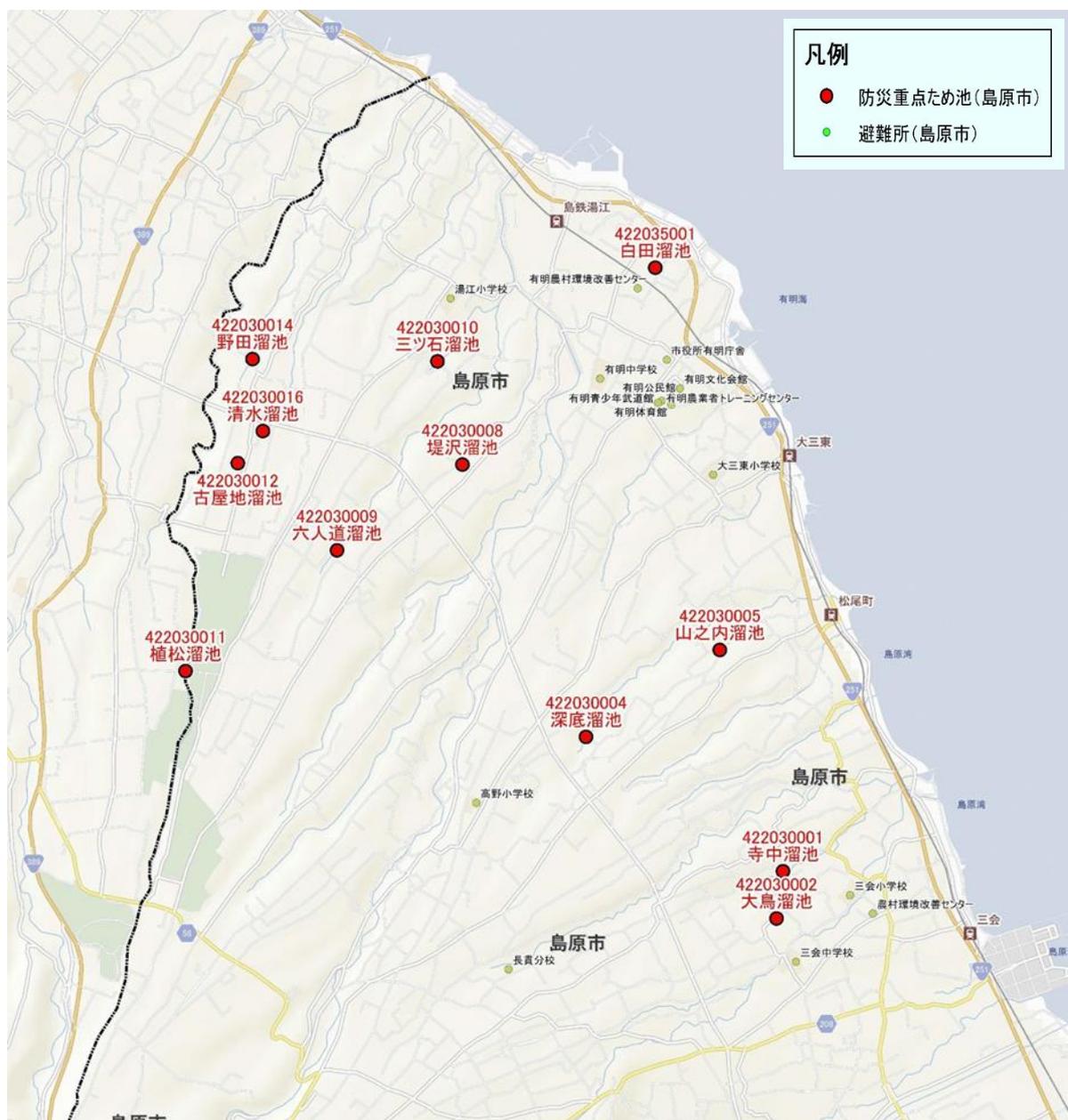
▼事業内容：島原地区ため池マップ・浸水想定区域図作成

①ため池マップ更新

②浸水想定区域図作成 N=2箇所（清水、山ノ内ため池）

▼総事業費：93万5千円（補助率：国費100%）

島原市内防災重点ため池マップ（一部抜粋）



○多面的機能支払交付金 3,491万2千円

農業者や地域住民が参加する活動組織による農業用施設の維持管理や地域の生態系保全、景観形成などの活動に対し交付金を交付しました。

	活動 組織 数	面積 (ha)	交付金額 (千円)	負担割合 (%)		
				国	県	市
農地維持支払交付金	2	689	14,491	50%	25%	25%
資源向上支払交付金 (共同活動)	2	689	7,886	50%	25%	25%
資源向上支払交付金 (長寿命化)	2	614	11,935	50%	25%	25%
広域活動組織運営交付金	1	—	600	100%	0%	0%
計			34,912			

遊休農地発生防止のための保安全管理状況



水路の泥上げ状況



沈砂池の適正管理状況



景観形成のための施設への植栽状況



款	項	目	目名	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算書の頁
6	1	6	農村環境施設管理 運営費	2,349万4	2,146万9	252~259

【農林課】

下記の施設・設備等の保守・管理を行い、利用しやすい環境づくりを行いました。

○農村環境改善センター管理運営費 **498万6千円**

○有明農業者トレーニングセンター管理運営費 **131万6千円**

○有明農林漁業体験実習施設（舞岳山荘）管理運営費 **1,473万2千円**

▼利用者数

(単位：人)

施設名	平成30年度	令和元年度	令和2年度
農村環境改善センター	14,736	16,649	9,186
有明農業者トレーニングセンター	29,425	26,175	17,148
舞岳山荘	7,350	6,023	1,959
計	51,511	48,847	28,293



<農村環境改善センター>



<有明農業者トレーニングセンター>



<舞岳山荘>



<舞岳山荘>

款	項	目	目名	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算書の頁
6	2	2	林業振興費	900 万 4	733 万 2	258～261

【農林課】

○松くい虫対策事業 344 万 6 千円

松林を松くい虫から保護するため、地上からの薬剤散布による防除及び被害木の伐倒駆除処理を行い、松林の健全な育成と保全に寄与しました。

実施場所	有明町水之出口地区、湊島、秩父が浦
事業量	地上散布：2.29ha、伐倒駆除：152 本



[地上散布]



[衛生伐]

○造林事業委託料 101 万 2 千円

分収林及び市有林の健全な育成を図るため、間伐や下刈り等を行い、人工林の健全な育成が図られ、森林環境の保全に寄与しました。

区 分	面 積
市有林管理 (下刈等)	0.54ha
分収林管理 (間伐等)	1.78ha

款	項	目	目名	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算書の頁
6	3	2	水産業振興費	3,527万8	2,352万8	260~265

【耕地水産課】

○活力ある海づくり事業費補助金 211万2千円

(有明漁協：67万3千円 島原漁協：143万9千円)

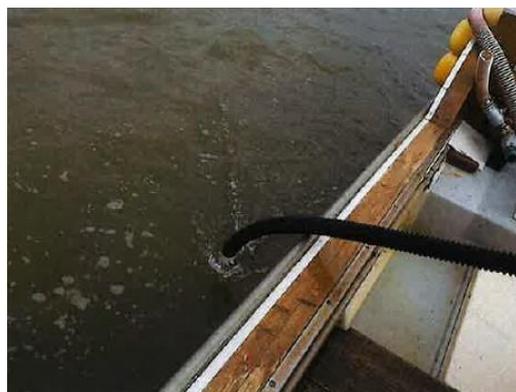
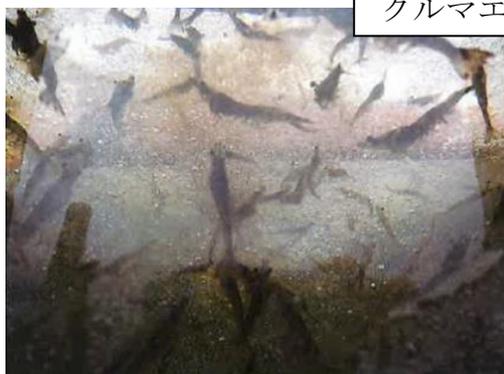
有明海の漁業資源の回復を図るため、種苗放流事業を行う有明海栽培漁業推進協議会に加入する有明漁協・島原漁協に対し補助を行いました。(市補助率75% 漁協負担金の75%を補助)

- ・放流実績 (諫早湾漁協から島原半島南部漁協までの8漁協合計分)

(単位：尾)

魚種	ヒラメ	クルマエビ	トラフグ
尾数	75,000	1,450,000	50,000

クルマエビ放流状況



○次代を担う漁業後継者育成事業 435万5千円

担い手の定着促進のため、就業定着意欲のある者に対する生活費・保険加入料等を助成し、担い手の確保育成を図りました。(負担割合：県50%、市50%)

- ・技術習得支援事業【新規就業者の生活費等】・令和2年度実績

研修者：3人	353万0千円
指導者：1人	82万5千円

○水産多面的機能発揮対策事業負担金 280万8千円

島原地区及び有明地区環境・生態系保全活動組織が、藻場・干潟の機能の維持・回復を図る取り組み相当分に対し、長崎県水産多面的機能発揮対策地域協議会に負担金を支出しました。

(負担割合：国 14/20、県 3/20、市 3/20 ※海難救助訓練は国費 100%)

(千円)

活動組織	内容及び事業費		国		県		市	
	内容	事業費	14/20	20/20	3/20	0/20	3/20	0/20
島原地区環境・生態系保全活動組織	1. 藻場の保全	2,304	1,612.8		345.6		345.6	
	2. 干潟の保全	5,376	3,763.2		806.4		806.4	
	3. 漂流・漂着物除去	3,456	2,419.2		518.4		518.4	
	4. 海難救助訓練	384		384		0		0
小計		11,520	7,795.2	384	1,670.4	0	1,670.4	0
有明地区環境・生態系保全活動組織	1. 藻場の保全	1,280	896		192		192	
	2. 干潟の保全	4,800	3,360		720		720	
	3. 漂流・漂着物除去	2,240	1,568		336		336	
	4. 海難救助訓練	320		320		0		0
小計		8,640	5,824	320	1,248	0	1,138.1 (雲仙市分 109.9)	0
合計		20,160	13,619.2	704	2,918.4	0	2,808.5 (雲仙市分 109.9)	0



ヒジキ移植



アマモ移植

○県営水産環境整備事業負担金 242万6千円

有明海沿岸地区において海底耕耘を実施するとともに、底質が悪い諫早湾において、耕耘と合わせ貝殻等を散布し、底質の改善に取り組むことにより、底棲生物の生息環境を改善し、漁場の生産能力向上と漁獲の増大を図りました。

県営水産環境整備事業の主な内容

- ・有明海沿岸地区（諫早市、雲仙市、島原市、南島原市）において、漁船を使用して、貝桁による海底耕耘作業等を実施

海底耕耘実施面積 17 km²、測量試験 1 式

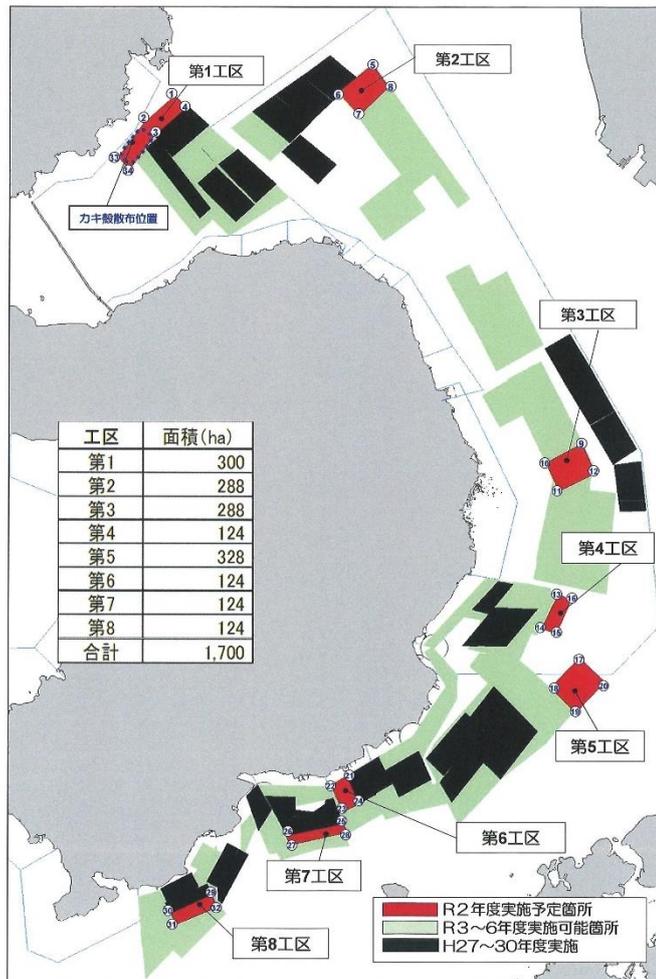
事業費 140,000,000 円

（負担割合：国 50%、県 45%、市 5%）

島原市の負担金算出方法

- ・事業費×5%（4市負担金割合）×（島原市の作業船：690 隻／4市の作業船：1991 隻）
 $= 140,000,000 \text{ 円} \times 5\% \times 690 / 1991 \text{ 隻} = 2,425,915 \text{ 円}$

令和2年度有明海沿岸地区海底耕うん事業の工区位置



款	項	目	目名	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算書の頁
7	1	2	商工業振興費	11億7,448万0	8億4,392万4	266~275

【商工振興課】

○島原ふるさと産業まつり 200万円

地元向けの特産品の普及や需要拡大のため、以下のイベントに補助を行いました。

イベント名	補助額 (万円)	開催日 (日数)	出店数 (店舗数)	来場者数 (人)
島原ふるさと産業まつり	200	R2. 11. 21~22 (2日間)	51	9,000



○島原市中小企業振興利子補給補助金 269万4千円

市内中小企業に利子補給補助を行い、経営の改善と産業の発展に寄与しました。

補助件数 57件

○地域総合整備資金貸付金（ふるさと融資） 1億6,700万円

市内の民間事業者が実施する葬祭会館建設事業に対する支援を行い、地域の雇用創出と経済の活性化に寄与しました。

○島原市中小企業振興資金 3,000万円

市内中小企業に必要な融資を行い、経営の安定に寄与しました。

新規融資件数 1件 融資額 300万円

○商店街活性化事業補助金 49万3千円

中心市街地の商店街の空き店舗を解消し、出店を目指す者への支援を行いました。

補助件数 2件

○地域拠点商店街支援事業補助金 136万円

商店街活性化プランに基づき、商店街がにぎわい創出のために実施した事業に対し、支援を行いました。総事業費に対する負担割合は、県費 4/10、市費 4/10、事業者 2/10。

補助件数 1件

○企業誘致活動事業 30万円

本事業の中の1つである「島原でしてみんねテレワーク支援事業」を利用し、1社3人が東京都から本市を訪問及びお試しテレワーク体験を実施し、サテライトオフィス進出の検討をしていただきました。

○企業立地促進・雇用創出事業 210万6千円

審議案件1件中1件を指定適当と認め、施設整備奨励金を補助しました。当該案件により51人の雇用が生まれ、本市での雇用確保に寄与しました。

■支援メニュー

立地奨励金	投下した固定資産額にかかる固定資産税相当額を3年間補助 (改修の場合は対象外)
施設整備奨励金	投下した固定資産額(土地代を除く)の取得額又は改修に要した経費に新規雇用者の数に応じて一定の率(5%~10%)を乗じた額を補助 ※限度額 1億円(改修の場合2千万円)
土地家屋賃借奨励金	土地・家屋賃借料の25%を3年間補助 ※限度額 1千万円/年
雇用奨励金	新規雇用した人数に対する補助 ・正規雇用者×50万円/人 ・短期雇用者×25万円/人 ※限度額 5千万円

○雇用拡大支援事業 110万円

市内の事業所に就職した新規学卒者やU I ターン者(若者)に対する支援を行い、若者の定住を促進しました。

新規学卒者 16人 Uターン者 2人 Iターン者 1人

○島原半島若者定着促進協議会負担金 32万5千円

県、ハローワーク、半島3市、商工団体が島原半島内への若者の定着を促進することを目的とした協議会を設立し、地元企業説明会や地元企業ガイドブックの作成等を行いました。

- ・地元企業説明会（高校3年生対象）
参加企業数 49社・参加高校 4校（159人）
- ・地元企業説明会（高校2年生対象）
参加企業数 29社・参加高校 8校（385人）
- ・地元企業ガイドブックの作成
掲載企業 88社



○地場産業事業拡充促進事業 359万8千円

市内における雇用機会の拡充を行い、定住、定着、移住の促進を図るため、雇用増に直接寄与する生産能力の拡大、商品・サービスの付加価値向上等の事業拡充を行う小規模事業者へ支援を行いました。補助金の財源負担割合は、国費1/2、県費1/4、市費1/4。

補助件数 2件

○地場産業事業承継促進事業 100万円

市内における地域産業の振興、地域課題の解決、定住、定着、移住の促進を図るとともに、事業の円滑な引継ぎを行うため、事業承継を行う事業者への支援を行いました。補助金の財源負担割合は、国費1/2、県費1/4、市費1/4。

補助件数 1件

○しまばら創業サポートセンター事業 145万2千円

島原商工会議所内に創業支援ワンストップ相談窓口を設置するとともに、創業セミナーを実施し、市内における創業希望者への支援や創業に対する気運の醸成、知識・技術の習得を図りました。

創業実績 7件



○創業支援等利子補給事業 52万7千円

創業関係融資を受けた創業者に利子補給補助を行い、創業時における負担軽減を図りました。

補助件数 11件

款	項	目	目名	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算書の頁
7	1	3	観光費	4億1,372万8	3億6,887万6	274~287

【しまばら観光課】

○観光宿泊施設支援事業 1,306万9千円

観光の振興と地域の活性化を図るため、温泉給湯事業を利用するホテル・旅館等が実施する宣伝PRや地元の食材提供などに要する経費を対象として支援を行いました。

○島原城七万石物語事業 1,500万円

演舞披露、武者行列、甲冑維持管理、体験・PR活動などを行い、湧水城下町島原のイメージ定着化を目指しました。

島原城入場者数は新型コロナウイルス感染症の影響から約102,000人と前年度実績より半減したが、島原城内での活動として、武将隊を活用した観光客へのおもてなしについては、来場した観光客の方々からお礼状が届くなど、大変好評であり、島原での旅の満足度向上に寄与しました。

島原城七万石武将隊



○湧水城下町おもてなし事業 900万円

本市特有の観光資源である湧水や城下町などの魅力を発信する観光案内人の配置をはじめ、郷土料理の調理体験等による市内観光の楽しみを創出し、観光客の拡大と市内滞在時間の延長による地域活性化を図りました。

事業名	参加・受付者数
かんざらし手作り体験	674人
観光案内（しまばら湧水館）	6,376人



「かんざらし手作り体験」



「しまばら湧水館」

○島原市スポーツキャンプ等誘致補助金 280万円

県内外からの交流人口の増加による観光振興及び地域の活性化を図るため、プロサッカーチーム（ギラヴァンツ北九州）や陸上チームのキャンプをはじめ、スポーツ大会を誘致しました。

また、市民スポーツの向上や青少年の健全育成、地域活性化を目指して、実業団や学生などによる各種スポーツのキャンプ等を誘致しました。

（キャンプ）

種 目	参加者数	延宿泊者数
サッカー（プロサッカー ほか）	112 人	606 人
陸 上（実業団）	17 人	88 人
合 計	129 人	694 人

（大 会）

種目	参加者数	延宿泊者数
野 球		
西日本中学硬式野球大会	1,332 人	1,273 人
サッカー		
九州はひとつ大学サッカーフェスティバル in 島原	104 人	237 人
RE MATCH!強化交流サッカー大会 ROUND	125 人	26 人
島原 U16 強化大会スプリング ROUND	200 人	144 人
島原 U17/U15 サッカーフェスティバル	750 人	676 人
合 計	2,511 人	2,356 人



▲ギラヴァンツ北九州キャンプ



▲西日本中学硬式野球大会



▲十八親和銀行女子陸上部

○大会・会議等誘致奨励金 87万円

観光振興及び地域の活性化を図るため、各種大会・会議・研修会等を開催する団体に対して、市内宿泊施設に宿泊した延べ人数等に応じて奨励金の交付を行い、交流人口の拡大を図りました。

区 分	件数	延宿泊者数	金 額
島原市大会・会議等誘致奨励金	10 件	4,447 人	870,000 円

○島原めぐり事業 1,000万円

島原城や鯉の泳ぐまち等を中心とした島原ならではの風情やおもてなしを観光客に体験してもらうことで、周遊型観光の推進・滞在時間の延長を図りました。

①めぐりんチケット実証事業

- ・チケット売上数 1,072冊

②Wi-fi 整備事業

- ・島原城、森岳商店街、大手広場（市役所）、万町商店街、中堀町商店街、鯉の泳ぐまち、中堀町下通商店街間の free wi-fi 網の整備完了。

③スマホを使った街中多言語案内板化+α構想事業

- ・VR ゴーグルを活用した多言語疑似入館体験商品の開発
(島原城、島原駅、島原港、清流亭)
- ・MR ゴーグルを活用したコンテンツの開発 島原城(1階部分)



「しまばらめぐりんバス」



「MR ゴーグル体験」

【シティプロモーション課】

○ロケツーリズムによる島原魅力アップ事業 703万9千円

島原市にある地域資源を活用し、映画やテレビ番組などの撮影誘致・支援を行うことで、映像作品を通じた情報発信により本市の魅力や認知度の向上や、市民の地域に対する愛着の高まりを目指すもの。

さらに、作品の舞台を訪れてもらうロケツーリズムの推進によるシティプロモーションとして交流人口の増加を図りました。

<ロケ実績> ※本市で何らかの撮影支援を行った番組等

区分	放送エリア	番組数
テレビ番組 (13番組)	全国放送	6番組
	ローカル放送	7番組
雑誌・Web (6媒体)	全国誌	4媒体
	九州・沖縄	1媒体
	電子書籍	1媒体

<主な成果>

正月2時間番組の誘致に成功！2時間丸々島原！

フジテレビ『有吉くんの正直さんぽ新春スペシャル～長崎・島原～歴史と湧水の街で名所&名物を満喫』

初回放送：令和3年1月2日放送（午前9時50分～11時50分）※全国放送

再放送：令和3年2月6日放送（12時～13時30分）※関東エリア



大三東駅では「有吉さんぽ」キャストらが黄色いハンカチを残した。

■総広告換算効果 9億5000万円

■総視聴者数 延493万人

<初回放送>

広告換算効果 6億3000万円（全国）

視聴者数 350万人（全国）

<再放送（再編集）>

広告換算効果 3億2000万円（関東）

視聴者数 143万人（関東）

■番組放送を活用したSNSでの発信実績

ロケを受け入れるだけではなく、放送に合わせて番組情報を拡散し、併せて市のプロモーションも行い、シビックプライドの醸成にもつなげた。

市公式SNSへの総アクセス数約24万2000件

令和3年2月15日現在

記事内容	SNS 配信日	LINE	Facebook	Facebook	Twitter	Instagram	
		島原市 LINEアカウント	島原市 Facebook	島原旗だより Facebook	島原市 Twitter	島原市 Instagram	
初回放送	初告知	12月28日		17,057		90,457	1,320
	初告知	12月29日			2,009		
	初告知	12月31日	2,458				
	直前告知	1月1日	2,514	2,819	494	13,820	1,140
	1月2日 全国放送						
	放送後フォロー	1月2日		6,312	1,374		
	ウェブ配信告知	1月3日		8,084		33,970	
	ウェブ配信告知	1月4日	2,108	1,131	547	5,102	
	各SNS合計		7,080	35,403	4,424	143,349	2,460
	合計アクセス数			192,716			
再放送	再放送前告知	2月4日		2,273	2,267	22,702	
	2月6日 再放送(関東エリアのみ)						
	ウェブ配信告知	2月6日		746	313	21,806	
	各SNS合計			3,019	2,580	44,508	
合計アクセス数			50,107				

番組を活用した
総アクセス数

242,823

○九州オルレ「島原コース」推進事業 100万1千円

九州オルレ「島原コース」のコース内の案内板の設置やコース整備を行い、情報発信や目的型観光者の誘客をはじめ、交流人口の増加を図りました。

- ・利用者数 6,000人（令和2年4月1日～令和3年3月31日）



「案内看板とカンセ」



「島原コースを楽しむ」

○島原城及び鯉の泳ぐまち観光交流施設指定管理料 2,000万円

島原城及び鯉の泳ぐまち観光交流施設（鯉の泳ぐまち観光交流センター「清流亭」、しまばら湧水館、湧水庭園「四明荘」）を指定管理者が一元的に管理運営することにより、周遊型観光の促進及び滞在時間の延長を図りました。

年度	指定管理料	利用者数			
		島原城	清流亭	湧水館	四明荘
R 2	20,000,000円	59,319人	23,303人	6,376人	15,148人
R 1	8,500,000円	124,100人	39,492人	14,790人	28,201人
H 3 0	9,000,000円	119,734人	32,868人	16,783人	29,630人
H 2 9	17,000,000円	127,649人	50,976人	20,424人	53,434人

○銀水・浜の川湧水管理経費 997万1千円

本市特有の観光資源である「湧水」を活用した交流施設として、島原の名物である「かんざらし」等の提供を行うとともに、魅力的な観光スポットとして島原城や鯉の泳ぐまちと併せた周遊化を図り、滞在時間の延長と交流人口の拡大を図りました。

- ・銀水来場者数：19,076人

内 訳	金 額
銀水管理経費	9,914,809円
浜の川湧水管理経費	56,600円
合 計	9,971,409円



○島原温泉ゆとろぎの湯指定管理料 2,000万円

市民の健康増進や観光客の市内周遊化、中心市街地の活性化を図る目的で建設した温浴施設「島原温泉ゆとろぎの湯」の管理運営を指定管理者に委託し、効果的な運営を図りました。

年度	指定管理料	利用者数
R 2	20,000,000円	55,114人
R 1	13,000,000円	75,150人
H 3 0	10,000,000円	71,307人
H 2 9	10,000,000円	68,766人

○島原城築城400年記念事業補助金 71万4千円

令和6年に迎える島原城築城400年に向け、島原城・城下町の歴史や文化を再認識し、次世代に伝承するための事業を実施しました。

- ・島原城築城400年時イベント実施に向けた勉強会（参加者数：10人）
- ・オンラインによるロケツーリズムセミナー（参加者数：35人）
- ・ケーブルテレビ放映による島原みらいキャンパス（講座回数3回、再放送含む放送回数延べ17回）

款	項	目	目名	予算額（千円）	決算額（千円）	決算書の頁
7	1	4	ふるさと産業振興費	1,134万9	687万2	286～291

【商工振興課】

○特産品PR催事事業 279万円

（ホームページ・パンフレット管理活用事業、特産品PR催事支援事業、島原市特産品認定制度（SQ）、姉妹都市等物産展）

本市特産品のブランド化の一環として、商品の魅力が向上し、消費者に愛される特産品となるよう、各種催事等を積極的に活用した情報発信・PRを行い、大手百貨店やスーパー等での流通促進を図りました。また、新型コロナウイルス感染症の影響で県外での催事が実施できなかったため、地元百貨店の催事場でのフェアを初めて行いました。

- ・物産展等開催・参加回数 5回
- ・延べ出展事業者数 36事業者



長崎浜屋「島原特産品フェア」



岩田屋の迎春2021

○特産品流通促進事業 241万4千円

(バイヤー交流セミナー、ビジネスマッチング商談会、島原産品プロモーション、海外販路開拓)

本市特産品が都市圏における大手百貨店やスーパー並びに飲食店等において、常備流通商品として定着化が図れるよう、バイヤーと地元生産者が直接面談しアドバイスを受けられる商品相談会を開催しました。また、販路の開拓に関しては、有名レストランと連携し、島原産品の素材とその生産者に直接折衝するマッチングを行うことで高級レストランへの販路開拓を図り、併せてコロナ禍の中での新たな取組としてオンライン商談会に焦点を当てたセミナーを開催しました。

- ・バイヤー招聘商品相談会 1回 参加事業者 7事業者
- ・レストラン食材マッチング 39回 参加生産者 7事業者
- ・レストランと連携した島原フェア 3回 参加生産者 13事業者
- ・オンライン商談導入セミナー 1回 参加事業者 13事業者



バイヤー招聘商品相談会



レストラン食材マッチング

款	項	目	目名	予算額(千円)	決算額(千円)	決算書の頁
7	1	5	有明の森フラワー公園管理費	2,240万7	2,240万7	290~291

【商工振興課】

○有明の森フラワー公園指定管理事業 1,582万4千円

市民の休養、憩いの場を提供し健康増進を図るとともに、観光交流の場として本市の活性化に資するため設置している島原市有明の森フラワー公園について、指定管理者へ管理運営を委託し、効果的な運営を図りました。

- ・R2利用者 約41,000人

＜花カレンダー（見ごろの時期）＞



有明の森フラワー公園

花の種類	開花時期
菜の花	3月～4月
桜	4月
パンジー	4月
サルビア	5月～11月
マリーゴールド	5月～11月
コスモス	10月